

## 長谷川の春休み

### ちょっと大人な春休み

私が3月末にオリジナル設計株式会社を退職したのは前回エントリのとおりである。4・5月は次にお世話になる会社からの提案で春休み期間を設けることとなった。特にお金に困っている訳でもなく、コロナもあり、前職の時代は趣味に費やす時間が短かったので、この際に全力でこの2ヶ月を満喫することとした。

### 3/31~4/5 食中毒（3年ぶり2回目）

幸先が悪すぎる。直接の原因は不明であるが、低温調理のチャーシューに乗ったラーメンが怪しい。最初は発熱・頭痛・下痢の三重苦、その後1週間は下痢が続いた。3年前はコウケンテツ ch.を見て作った生焼け鶏むねステーキでカンピロバクターに侵され、今回の比ではない苦行（39度の発熱・割れるような頭痛・嘔吐・1ヶ月の下痢）に直面した。それに比べればなんてことはない。ただ、実家が別の消化器系の疾患を疑い出したので、入社前の健康診断で管カメをお尻から突っ込むことを決意するのであった。

### 4/4@東京 国会図書館

食中毒がだいぶ楽になってきた4月4日、まだ調べきっていない決算書を収集するため、永田町の国会図書館に行ってきた。ここ2年間の自由研究として、水道施設の工事実績データから各種単価を作成・改良する取り組みを進めており<sup>1,2</sup>、国会図書館にしかない決算書があるため、これまで定期的に通ってきた。今回でようやく全ての決算書や年報の収集が完了した。国会図書館内には食堂や散髪屋があり、それらにも行きたかったが、国会図書館に行く機会がまたあれば訪れてみようと思う。4月4日はちょうど桜の満開日であり、街灯でライトアップされた満開の桜がとても綺麗であった。



### 4/5 ハイキュー映画

私が全巻購入した経験がある3作品のうちの一つ、ハイキューは稲荷崎戦まではアニメで放映されていた。県大会決勝の白鳥沢戦に並び名勝負とされているのがこの音駒高校戦である。いつ映画化されるのかと待っていたら、どうやらだいぶ前に放映されていたらしい。ということで、新宿ピカデリーで早速見てきた。

序盤で早速、菅原の「祭りじゃー」が登場。ただこれは漫画のほうがしっくり来た。一方、終盤の研磨の一人称視点は漫画にはなく、これは映画独自の Good Point であった。研磨の「たーのしー」が聞いた時点で私は満足である。試合直後に研磨がクロに「バレーを教えてくださいありがと」と伝える場面があるが、恐らくクロはこれでバレーボールを普及する側の立場に立とうと考えたのではないだろうか。次の鷗台戦も映画だろうから、今度は上映されたらすぐに観に行こうと思う。



#### 4/6～ 自炊を頑張る長谷川

6月以降は在宅勤務が多くなるので、料理のレパートリーを増やすべく様々な料理に挑戦した。

4/6 | 肉じゃが | 手軽で味も良い。個人的にはじゃがよりも肉の比率が高めのほうが好き。

4/9 | 春巻き | 干し椎茸は前の晩から戻しておこう。冷凍保存も可能。巻くのが楽しい。

4/21 | 麻婆豆腐 | 手軽で麻婆丼にしてもおいしい。

5/2 | 焼き漬け | 豚バラで作成。個人的 No.1。今後のローテ入り確定。

#### 4/8 引越し先が決まる

現在の住居は比較的安価で日当たりも良好なものの、ワンルームが故の湿気問題と隣人問題に直面していた。また、クローゼットのサイズも小さく、ファッションのバリエーションも増やせずにはいた。これらの点には不満があったものの、次の職場にも40分で行ける場所にあり、新宿へのアクセスにも優れていたため、立地には一切の不満はなかった。こうした状況の中、現在の住居の前にマンションが新築され、その新規入居が募集されていることにある日気づいた。1DKで風呂トイレ別、収納も十分、コンロも2口で対面式、家賃も手取り月収の1/3以下、北向きではあるが室内乾燥もあり、正直文句なしであった。その後すぐに不動産屋に連絡をとり、その翌日には内見、そして仮契約に至った。なお、入居先の地番は現在の住居と同じであり、建物名のみが変わる珍しい引っ越しである。

#### 4/9 ガンダム SEED 映画

姉とリアタイで良く観ていたガンダム SEED と SEED Destiny。これの映画が出ており、賛否両論ある作品であることは知っていたが、時間もあるのでとりあえず新宿の東方シネマで観てきた。久しぶりに歌舞伎町を通過したが、最後に訪れた4年前よりも治安が大分良くなっていた印象を受けた。東方シネマはシーンに合わせてシートが動いたり、霧が出たりするMX4Dを導入しており、何も知らない私はその上映回を当ててしまったようである。頼んでいない霧吹きが顔にかかった時は少しイラッとしたが、薔薇畑のシーンで本当に薔薇の香りがした時は正直笑ってしまった。

さて、本題の作品であるが、OOの映画と同様に敵のインフレが激しく、作品内でも機体の移り変わりが激しいため、正直ついていけない部分があった。作品自体はキラとラクスとの愛が軸に進んでおり、中間管理職的な立ち回りと責任感で空回りし、素直になれないキラの苦悩と、キラを支えたいが多忙な公務ですれ違うラクスのもどかしさが作品前半で描かれる。作品後半は超展開と愛の力でハッピーエンドとなるのだが、ラクスの心の強さが全てを引き寄せているといえる。私はどうしてもキラの立場から作品を観てしまうのだが、アスランに「素直に人を頼れ」と喝を入れられるシーンは私自身突き刺さる部分があった。あと、アスランの唐突な妄想シーンには笑った。



#### 4/12 同期たちとの飲み会

お腹を壊してから初の飲み会だったが、特に問題はなく安心した。同期は3年で半分に、私が辞めたことで同期の4年経過時離職率は60%となった。[厚労省の調査](#)によれば、前職の事業規模における3年経過時新卒離職率は33%なので高い。それでも、辞めた人も含めてこのように集まれるのは素晴らしいことである。

#### 4/13 腕時計を購入

個人的な意見だが、スマートフォンが普及した現代における腕時計の位置づけはアクセサリーである。前職では、健康増進の一貫としてApple Watchの常用をやたらに推奨されたため、断る口実として「これまで時計を2回なくしたし(事実)、入社前にスマートウォッチをつけていた時期があるが、特に効用はなかった。」と公言していた。そんな口実を使っていたから、前職の在職中は腕時計をつけることができなかった。

そして、今回の退職を機にようやく腕時計をつけられるようになったので、購入を検討していたHAMILTON Jazz Master Viewmatic Autoを遂に購入した。以前保有していた腕時計は文字盤が白だったが、今回はネイビーでベルトも同色で統一した。装着感も良く、オンオフ両面で使えるだろう。



#### 4/14 実家に帰る

出身が東京であるため、実家も50分程度で帰れる場所にある。そのためか、地方出身者よりも実家への帰属意識が薄く、実家に帰る頻度は少ない。ただ、今回は春休みで時間が多くあることと、姪っ子と叔父が来るとのことなので久しぶりに実家に帰った。主役は当然姪っ子なのだが、私の引っ越しやその他諸々の身の上にも話題は至り、とりあえずこの2ヶ月は存分に遊べとアドバイスを受けて帰宅の途についた。

#### 4/15, 4/18 ヒトカラ

本当は在職中に行きたかった一人カラオケ。音楽の趣味が90~00年代やプロセカに偏っているので、自分が好きな曲を全て満喫するにはどうしても一人カラオケが最善の手段となってしまふ。今回の気づきは髭男とスピッツが結構楽しく歌えることと、5時間も通して歌い続けると流石に疲労が凄いことだった。

#### 4/21 雨の神宮

前職の協力会社の人からのお誘いがあり、ジャックロードシートでヤクルト対横浜を観戦した。試合は開幕3戦3勝の暫定エース・ヤブーレが2回7失点と大炎上、雨天無効試合を願う試合展開となった。結局、9回まで試合は続き、大敗を喫する結果となった。救いは地元である小平市出身の長谷川宙輝投手が登板したことと、私が持参していたお気に入りのバッグがヤクルトショップ限定品であることに気づいてもらえたことくらいである。ただ、ここ数年私の観戦している試合が全て負け試合なのは本当に暗黒を感じるころである。



なお、ヤブーレは次回登板の巨人戦で9回94球完封(通称マダックス)を達成することとなる。

#### 4/23 とにかく人に会う@関西旅行

22日に京都駅前のホテルに前入りし、ここを拠点に4泊5日の旅行を敢行した。23日は顧客訪問→転職先の大阪オフィスを視察→理研に勤める同期と会う→前職の同期と飲み会というスケジュールであった。理研の友人はインド人で都立大時代の同期にあたる。彼とは会うたびに研究・教育のあり方というテーマで議論が白熱してしまう。ランチでは前から気になっていたビリヤニにようやく挑戦できた。前職入社以降の4年間で最も英語を話しただろう。前職の同期とは私の身の上話で盛り上がり、終電近くの京阪線で京都駅に向かったが、祇園四条駅まで乗り過ごしてしまう結果となった。

#### 4/24 国会図書館関西館@関西旅行

決算書集めの最後は木津川市の学研都市にあるNDL関西館に一日籠った。これでもう本当に決算書収集はおしまいである。また、転職先の50年史がたまたま開架であったので、興味深く読み進めた。こうした年史は新人・転職者向け教育として本来は読むべきなのだろう。



#### 4/25 水源開発の苦労@関西旅行

この日は県内の水道局にいる研究室の同期と神戸を散策した。どうやらその水道局が過去に35年に渡って水利権のない表流水を取水したり、井戸を掘ったらフッ素が高濃度で出たり、県のダム整備が遅れたから自前で水道専用ダムを作ったりと水源開発に苦労していたようだ。特に、表流水は余剰農水の水道用への転用が進まず、既得権益的な問題が背景にあるようだ。水利権違反は春日那珂川水道企業団の事例<sup>3</sup>も凄いが、この事業体もなかなか凄い。

#### 4/25 廃墟と化した新神戸駅@関西旅行

県内事業体の彼と業界全体の話や身の上話をしながら新神戸駅に辿り着くが、駅前の廃墟具合には戦慄を覚えた。テナントが全く埋まっていないのだ。正直、新神戸駅は神戸中心街へのハブでしかなく、駅の外に出て食事をとったり、宿泊する目的は普通ないのでこうなるのも無理はない。雰囲気は大阪市水道局が入るATCビルの廃れ具合に近い。そもそも、新神戸駅の前が地方空港のように駐車場となっている時点で、駅前の発展を当初から想定していないのではないかと言える。



#### 4/25 六甲山ちよい登山@関西旅行

新神戸駅の外に出る唯一の理由といえ、六甲山の登山口があることである。当初登るつもりはなく、服装も身軽な感じではなかったのに、布引の滝まで登った。この春休みで気づいたことは、自分自身が本来アウトドア派であるということ、短い距離だったがこの登山が凄く楽しかった。六甲山の登山はしっかり準備して再度挑戦したい。登った先には有馬温泉があるようなので、そこを目標にすればよいだろう。神戸といえ、港であるが、中心街から徒歩圏内に六甲山があることも大きな魅力である。東京の高尾山も日帰り需要があるが、六甲山はそれ以上のアクセス性がある。神戸の新たな魅力を発見できて満足であった。



#### 4/25 街頭インタビューを受ける@関西旅行

六甲山を登った後、前職の同僚との会食があるため大阪駅に向かっていった。その道中にビジネスカジュアル調の服に身を包んだ男性とカメラマンに突然声をかけられた。どうやら、サラリーマンの投資事情に関するインタビューのようだ。



TV：会社員の方ですか？

私：前職を辞めて次の会社は6月からです。  
ここには旅行で来ています。

TV：ご職業は？

私：コンサルタントです。転職先もそうです。

TV：将来に向けて民間年金やNISAとかの積立はされていますか？

私：民間年金はしていますが、転職先の職業的に投資に対する制限がかなり強いので投資は難しいかも。

TV：年収は？

私：〇〇〇万円です。

TV：その年収なら投資されてる方も多そうですね。

私：そうですね。全ての証券に投資できないわけではないので、少しは考えています。  
最近では市中金利も上がってきていますし、元本割れしない範囲で運用を考えています。  
インデックス買いでも株式投資はしたくない考えです。

まあ、大筋こんな感じの話であったが、無職×投資制限ありの立場というインタビュー一泣かせの人物にピンポイントでよくインタビューしたなという感想である。

## 4/26 前職のOB回

京都から東京に帰ってきた夕方は前職を辞めた方々と新橋で飲み会を楽しんだ。転職先の働き方や業界の最新動向が主な話題であったが、一番の驚きは転職した人の血色が凄く良くなっていたことである。やはり環境は大事である。どの歳でも自らの環境を変える勇気を持っている人には幸せが訪れるものである。また、もう一つの驚きは、新橋がサラリーマンの街というよりかはキラキラした若者の街になっていたということである。6月から新橋に繰り出す機会も多いだろうから、新橋がどういう街なのかを知っていこうと思う。

## 4/28 草野球

前職では恒例の草野球。今回は会社OBとして初の参加となった。本職はバスケだが、体を動かすのはいつでも楽しい。ただ、普段練習していない身としては、ライナーをキャッチすることもバットにボールを当てることも一苦勞である。それでもヒットが打てたりするとやはり楽しい。今後も積極的に参加したいと思う。またこの際、前職の若手がまた一人辞めて地元に戻るという話を本人から聞き、いい人だっただけに少し悲しい気持ちになった。



## 5/1 バッティングセンター

先日の草野球でボール慣れの必要性を感じたので、前職の先輩方と新宿のバッティングセンターに行った。気づいたことは、貯めを作るために太ももとお尻の筋肉が必要なこと、スイングをぶらさないために頭の位置は常に一定にすべきこと、ボールをもっと引き付けてからスイングすることの3点である。30球程度で体力が限界に達するので、100km程度で少しずつ練習して自分のフォームを確立してみようと思う。

## 5/2 技術士の勉強を再開

この春休みを設けたもう一つの理由は、消えかけた技術士試験への火を付けるためである。要はこの休みに遊び尽くせば勉強に集中できると考えたわけである。ただ、そんなことをしなくとも私のやる気を再点火することができた。忘れた頃に試験の得点開示結果が自宅に届き、わずか3点足らずで不合格となっていたことが判明したのだ。原因が選択3の記述方法がまずかったことにあることは明確であり、悔しさよりも次回こそ合格できるという気持ちが私を奮い立たせた。そういった理由から、この日から1日2時間の技術士試験対策を再開した。まずはA回答の分析、次に昨年度の回答の分析、といった順で勉強を進めて行くこととしよう。実際の勉強方法と勉強時間は合格体験記でまとめることとする。

## 5/3 高体連バスケ関東予選 B8・B4 決め

### 1) 日野 vs. 菅生

コロナ以降入場が制限されていた各都道府県の高体連バスケ。昨年からの制限も解かれたので4年ぶりに高体連バスケ関東予選を観戦した。午前中は八王子高校で日野対東海大菅生をまず観戦。日野は#17のガードを中心によく走るチームで、能力の高い選手が多い。対する菅生はIQの高い#5ガードと伝統の器用な#37センターを中心にこちらもよく走るチーム。鬼門の3Qで自力で勝る菅生が引き離すが、4Qに日野のシュー

トが爆発。2点ビハインドの日野はラストポゼッションにスリーを放つがブロックされ万事休す。ただ、久しぶりに観戦した試合が熱戦で本当に良かった。強い都立高ってどうしても応援したくなってしまう。

## 2) 八王子 vs. 実践

次の八王子対実践学園は注目の#12 十返を中心に実践を序盤 25-0 で圧倒。早々にベンチメンバーに交代してしまった。正直、関東ベスト4の八王子は東京都ではずば抜けていて、都内ではどこも相手にならないと感じるほどの完成度であった。八王子への期待は最低でも全国ベスト8以上である。

## 3) 久我山 vs. 駒場

午後は専修大学附属で B4 決めの国学院久我山対駒場をまず観戦。高校時代の恩師が監督の東大和南を下して 15 年ぶりの関東大会出場を決めた駒場高校。私の現役時代から関東大会から遠ざかっていたのは驚きだ。久我山は相変わらずのスロースターターで 1Q は 14-30 で駒場がリード。しかし、その後は名門久我山が自力を見せて 2Q に逆転。その後はリードを許すことなく勝利した。久我山は#4の身体能力が驚異的で、駒場の選手も彼のドライブやインサイドの力強さに対応することができなかった。ただ、八王子ほどの強さは無いように感じた。駒場は#4と#5がチームの中心なのは伝統のようだ。



## 4) 専修 vs. 豊山

次の専修大学附属対日大豊山はとにかく応援が騒がしい伝統の一戦。私の頃は赤より緑、緑より赤と互いを煽り合っていた。試合は専修大学附属がリードを広げる展開だったが、両チームが 2nd ユニットの交代すると豊山が躍動、リードが縮まる展開に。たまた専修はスタメンにメンバーを戻し、豊山もスタメンと 2nd ユニットの混成に切り替え、後半は一進一退の攻防に。しかし、前半の点差を縮めるまでには至らず専修が貫禄勝ち。勝った専修は身長はないものの、よく走るチームで#11が玄人好みのいいガードであった。豊山は#34のFが落ち着いたオールラウンダーでチームのバランスとして良い働きをしていた。

## 5/4 高体連バスケ関東予選順位決定戦

この日は昨日に圧倒的な展開でほとんど出なかった八王子の#12を観るため、順位決定戦@世田谷学園へ足を運んだ。結局、八王子は専修をダブルスコアで圧倒。#12も3Qまでしか出なかった。ただ、それだけでも十分彼のシュート力を見せつけられた。やはりどこも八王子には敵わないだろう。八王子は関東大会で観たほうが良さそうだ。試合を観戦後、時間があつたので久しぶりに三軒茶屋に足を運んだ。私にとっての三軒茶屋は洒落た散歩場所 or 生活空間といった感じで、古着とかの買い物なら下北沢に行った方がやはり良い。今回の目当ては友人おすすめのチーズケーキだったが、男性一人ではハードルが高すぎたので断念した。



## 5/5 晴れの神宮

引き分けを挟み4連勝中のヤクルト。セリーグが団子状態のこともあり、連勝前は最下位だったのが3位まで浮上した。当然、今日も勝利を期待して試合を観戦した。しかし、中日先発の高橋宏斗が絶好調で、6者連続三振を含む8回2安打無失点。打撃でもセーフティーバントを成功させるなど手が付けられない状態だった。ようやく9回に高橋宏斗を捉えるが、抑えてライデル・マルチネスが登場し、6-3で試合終了。どう転んでもライマルが登場することは分かっていたので、8回の時点で見切りを付けた。この日はこどもの日で、ヤクルトもキッズデーとして多くの子供が観戦していたが試合展開的に可哀想であった。これで今年度の観戦試合は4連敗、ヤクルトの4連勝をストップさせる疫病神具合を今回も見事に発揮した。



## 5/6 シェアサイクル初挑戦

春休み中に新宿や渋谷周辺に外出する機会が増え、自転車があれば便利だなと感じる場面が増えてきたので、最近よく見るシェアサイクルを使ってみた。プランは様々あるが、30分160円の一時利用プランを使ってみた。金額的には公共交通機関で行けるところまでは行って、ラストワンマイルに活用するのがいいかもしれない。あるいは電車の人混みを避けるという目的もあるだろう。また、ルートによっては自転車のほうが早い場所もある。私自身、自転車に乗るのは5年ぶりであり、事故でも起こしてしまうかとヒヤヒヤしたが、意外と問題なかった。ただ、時間貸しなので、自転車を置いて何かをしている間に課金されることから、利用は単なる移動に限ることがほぼ前提と言える。これからは神宮にも乗り換えの必要がないシェアサイクルで行ってみよう。

## 5/11 水を語る会

水道技術ネタなので詳しくは「水道小ネタ」を参照のこと。

## 5/14 前職の方と会食

この日は前職の方と以前から約束していた大宮での会食。この日を起点として北陸新幹線での旅行を始めることとした。この日お世話になった方は浄水技術一筋の大ベテランで、前職時代には技術面で大変お世話になった。前職にはエンジニア会社のOBの方が数名在籍しているが、技術面はもちろんのこと、人間性も豊かで多くのためになる話を聞かせてもらった自分の将来像となる人たちである。

## 5/14~5/17 北陸巡業

詳細は私の[マイマップ](#)や[FBアルバム](#)を参照のこと。訪れた各自治体の印象・体験を以下に短く書く。

白馬村 | 北アルプスの景色最高。宿泊したホテルの温泉はこれまでで No.1 の絶景。役場にも訪問。

糸魚川市 | 人生初の日本海。かなりの田舎。公園で懸垂。

富山市 | ノドグロ・白エビ美味しい。県立図書館で決算書集め。大雨で富山大や市立図書館は断念。

金沢市 | 城や庭園はさっと。県立図書館の美しさに圧倒される。次は犀川サイクリングに挑戦したい。

円安は海外旅行には当然マイナス要因になるが、国内旅行でも外国人旅行客で溢れるため、宿泊費が高騰してしまう。結局、円安って誰が喜ぶんだっけ？とこの旅の最中でふと考えてしまった。

4月26日のエントリで、前職を退職した上司や同僚の血色が非常に良くなっていたことをお伝えした。どうやら私もそうだったようで、白馬村役場へご挨拶に伺った際、職員の方に「長谷川さん、血色凄く良くなっていますか？」と言われてしまった。

これまでの人生で一度も日本海を見たことがなく、人生31年目でようやく見ることができた。白馬・富山・金沢はまだ行ききれていない場所があるので、機会があればまた行きたいと思う。富山や金沢は5月6日エントリで紹介したシェアサイクルも使えるので、まだまだ行ける場所はあるだろう。

## 5/22 またまた神宮

この日はヤクルト vs. 横浜。先発は小澤とジャクソン。小澤は防御率2点台であるにも関わらずまさかの0勝4負で私の今季の観戦成績と全く同じである。しかも登板した全試合で5 or 6回2失点のほぼクオリティ・スタートという安定ぶりである。今日こそは今季初勝利をと共に願った今試合、筒香の2ランHRは許したものの、いつも通り6回2失点で降板。しかし、打線が繋がらず2-1で敗戦。しかも、今季好調の丸山和がフライ捕球の際にフェンスに激突、そのまま担架で運ばれるアクシデントもあった。今季観戦した5試合で最もいい試合だったが、またけが人が出てしまった。なお、この試合終了時点でのヤクルトの勝率は.425であり、観戦した5戦全てで敗退する確率は、 $(1-0.425)^5 \approx 6.3\%$ となり、95%信頼区間的な考え方に基づくとあと1戦で偶然とは片付け難いレベルに到達する見込みである。

## 5/20~5/28 お引越し

4月8日エントリで書いた引っ越しが20日より始まった。転居先が現住居から非常に近いため、引越屋の助けは借りず、大型家電の移動だけ前職の同期の助けを得た。引越中に発生したトラブルは

- ・役所の粗大ごみ回収が3ヶ月先まで予約できず（昨今の残業規制が背景にある模様）
- ・昼間に掃除機をかけても隣人が壁ドンしてくる
- ・新居のオートロックに締め出される
- ・同期が持ち込んで来たPS4が起動せずにジャンク品と化す（後日解決）

程度でそれ以外は非常にスムーズに進んだ。無音の新居で初めて寝た際には、前居で堪能できなかった久しぶりの平穏を感じる事ができた。また、引越後は北陸巡業のお土産を持って隣人へ挨拶もしておいた。

## 5/24 母校の幹事会

この日は校友会の学科幹事を務めている日本大学の生産工学部にお邪魔した。幹事会があったために行ったが、主目的は大学の先生方に転職先をお伝えすることであった。今回の幹事会では昨年度の決算報告と今年度の予算報告があったが、これが面白い。詳細は明かせないが、前職の社内親睦会の会計が悩ましかったのと似ている。他の学部の決算も気になるところである。学部時代にお世話になった五十畑先生が喜寿のようなので、是非お祝いしたいところである。

## 6/2 テニスの王子様

とあるきっかけから、この春休み全体をとおしてテニスの王子様を観ていた。話数は関東大会までの全 178 話+全国大会 OVA26 話=全 204 話である。漫画版は全て読んでいたので大筋は理解していたが、アニメ版は関東大会途中からしばしば漫画に追いつくという現象が生じていたため、アニメ版では関東選抜編や青葉城西高校戦といったオリジナルストーリーが追加されている。アニメ版は関東大会で一旦の最終回を



迎えるが、これは漫画との進捗の調整が必要であったからであろう。アニメ版の終盤は越前が米国 OP に出場する話であるが、アメリカ版桃城&海棠が出てくるなど、かなりヤケクソ感があって面白い。それと、越前との試合に負けて坊主にさせられる跡部が観たかったファンは多いのではないかな。なんだかんだで一番感動したのは大石・菊丸が全国決勝で丸井・桑原ペアを倒して S3 の越前に望みをつなぐシーンである。

本作は関東大会途中からテニスへ進化を遂げ始めるが、依然として OP で「日本テニス協会推奨」と出てくるのが笑えるところである。テニプリといえばテニミュも有名であるが、ダブルスという性質上、BL 的な妄想が捗るのも頷けるし、四天宝寺戦で一氏ユウジと金色小春が登場するなど、作品も徐々にそれに寄せている感もある。ちなみに、私の母校である小平 2 中は全国優勝経験もある硬式テニスの強豪で、本作がテニスをしていた頃は顧問のところにジャンプが毎号届いているという噂があったことを思い出した。また、不思議なことに 2022 年センバツ優勝校の富士見丘中学もご近所にある。

## 6/2 春休みを振り返って

今回は転職を機に 2 ヶ月の春休みを得たが、これは私が本来希望したものでなく、トーマツ側からの提案であった。春休み当初は春休みの長さに圧倒されていたが、5 月中旬になるともう 1 ヶ月延長してほしい気持ちが出てくるほど充実した春休みになっていた。長い休みをもらったが、日々が充実するほどに毎日をどう有意義に、妥協せずに過ごすかということを一層意識して生きていこうと感じた。

結局、旅の多くはこれまでにお世話になった人のお礼廻りが中心になっていて人との繋がりを大切にすることの大事さを再度認識できた。実は退職月にプライベートでいろいろな出来事があり、自分の考え方を整理するためにも結果としてこの 2 ヶ月は非常に有効であった。結局、これまでの自分を作り出してきたのは水道という分野での自己研鑽の日々であり、変わらずこれを追求していくことが自分にとってはベストであろう。さあ明日からはトーマツという新転地で自分自身を高める日々のスタートである。

1. 小塩航生, 長谷川高平, 荒井康裕, 國實誉治, 小泉明: 水道施設概算工事費に関する一考察—耐震補強工事に着目して—, 令和4年度全国会議(水道研究発表会)講演集, 名古屋市, 2022年10月, pp.126-127.
2. 長谷川高平: 水道施設の耐震補強に係る概算工事費の算定手法, 令和4年度技術報告集, 全国上下水道コンサルタント協会, Vol.37, 2023年3月, pp.1-6.
3. 春日那珂川水道企業団: 春日那珂川水道企業団水源問題に関する第三者調査委員会報告書, 平成28年3月.